

027 外苑会館

東京都 建築設計——NOUS 建築設計事務所（安東勝男）

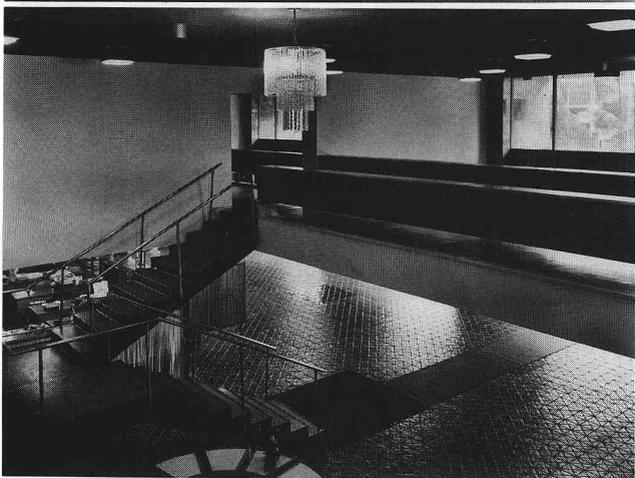
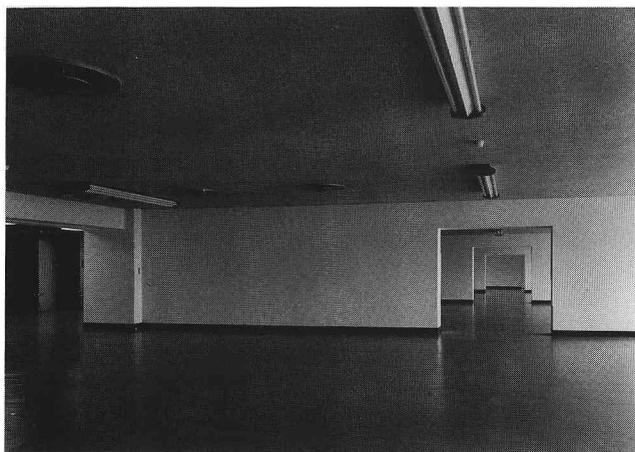
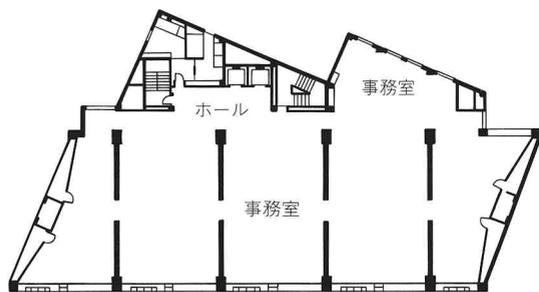
鉄骨鉄筋コンクリート造，地上10階・地下3階建，1964年

当時，高さ31mの制限があり，通常9階建までであった。
ところがこの建物は10階建である。

偶数階の間仕切壁を大梁とし，1階分の梁成として，2層分の床荷重を持たせた（この壁梁に通路の開口を設けさせられた

が，せん断の少ない中央部に開けた）。床は中空スラブとして小梁なしとした。また，そのボイドを設備のダクト兼用とし，天井を貼らず直接仕上げとした。長辺方向の横力に対しては，正面に目障りにならない菱形のブレースを使用した。





左頁：北東側より見る

左上：4, 6, 8階平面(S=1/750)

右上：5, 7, 9階平面(S=1/750)

左中：8階事務室

左下：ラウンジを見降ろす

右下：施工中の骨組

撮影：村沢文雄(左頁, 左上, 左下), 大橋富夫(右下)